

編集後記

酷暑が過ぎ去りようやく秋風が吹いて参りましたが、それもつかの間、一転して九州北部には猛烈な豪雨が降り続き、被害も出ている模様です。該当地域の先生方におかれましてはくれぐれもお気をつけください。

さて、本号は眼瞼下垂手術の特集です。私が入局した30年前は、白内障手術がICCEからECCEへと進化した、眼内レンズが普及しはじめた頃です。当然、その当時から眼瞼下垂の手術は行われておりましたが、機能重視で現在のように細やかな配慮はなされることもなく手術が行われていたように感じます。

本特集からもわかるように、現在では麻酔に対する配慮、手術方法、さらに他の眼疾患合併例での注意事項も詳細に記載されております。手術材料に関する進化も特記すべきでありましょう。さらに眼瞼下垂という疾患と治療に対する評価も詳細にまとめられております。以前は単に見た目の改善や視野が広がればよい

と、目視で診察・確認、口頭で改善の有無を確認する程度でした。眼瞼下垂の手術によるメリットは当然これにとどまらず、角膜乱視や高次収差の軽減、また姿勢、肩こり、頭痛の改善といった、眼科には直接関係しない部位に至るまで詳細に考察されております。涙液動態への影響も考慮され、ドライアイの改善やそれに伴う不眠の改善を認める症例も存在するとの記載に非常に驚かされます。すなわち、眼瞼下垂治療の適応がとても広がっていることがわかります。こういった精緻な追及こそがさらなる眼瞼下垂手術の進歩へつながるものと確信し、それはAI時代が到来しても揺るぎのないことと考えます。

特集以外の記事も明日からの臨床、もしくはすぐにも役立つ情報が満載です。お楽しみいただければと思います。

(石川 均・記)

編集：富田剛司・坪田一男・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸

「眼 科」 第61巻 第9号 9月号

2019年9月5日発行（毎月1回5日発行）
定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

Tel 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。